

そよみがぜだより

2008
12月号

早いもので十一月、今年ももう終わりに近づいてきました。

十二月は「坊主が走り回る月」といって一月と一言で「歯医者と歯医者」が、お坊主さんでなくとも「歯医者と歯医者」の月、なんだが歯医者の目です。

クリスマスや大晦日、大掃除に年賀状の準備、他にもお歳暮やお年賀の用意など、年の暮れはやる事が決まっています。

クリスマスは準備をしたと聞かれました、さあこの正月...。どうも他の行事よりも、大きな行事で準備なども大変です。もう少し行事と行事の間が空いてほしいな、と思っております。

クリスマスや大晦日、大掃除に年賀状の準備など、年末年始は食事や掃除など、忙しいです。

「最近の田舎や供給環境の変化などで、輸入品の歯ブラシは、タリノアクリル樹脂の歯ブラシの市場価格が下がっています。」

市場価格が昨年より値下がりし、店頭でもお安く販売されています。今年はお歯を磨く食材(魚介類など)が、すくなく歯ブラシは、お安く販売されています。

一言メモ

歯ブラシ



- 入れ歯もお手入れが肝心です。
- 基本は、水道水でよく洗うこと。
- 歯ブラシの裏や細かい部分を、ブラシでよくこすこと。
- 汚れが落ちにくい部分には、小さい方の硬質毛を、入れ歯のピンク色(歯ぐき)の広い部分には大きい方のブラシで薬こ手入れができます。
- 入れ歯の汚れが口臭の原因になります。
- 就寝時は、歯ブラシは必ず湿らせたぬるお水につけておいてください。
- 歯ブラシは、乾燥すると変質してしまいます。



むし歯の治り方

今回は実際の治療の写真を見て頂こうと思います。すなわち、麻酔をかけた歯のむし歯を削り、歯だけをとり、歯科用の合成樹脂で修復する。この臨床例を挙げてみます。

このようにむし歯の早期発見・早期治療では、歯本来の形態・色調や機能を取り戻すことが比較的容易になります。特に痛みなどの自覚症状がないうちからこのことから健康診断を受け、簡潔的な治療で終わらせることが予防につながります。



今月の豆知識! 「12月といえば」

「お歳暮」

お歳暮は一年間お世話になった方に感謝の気持ちを表したり、ご無沙汰にしている方への挨拶を表した習わしです。そのお歳暮も昔は儀礼的なものばかりでしたが、最近の傾向はどうも少し違うようです。昔は会社の上司などへ贈るケースばかりでしたが、今では身近な仲の良い友達や同僚、親類関係などに贈るケースがとても多いようです。それどころか、自分自身にクリスマスプレゼントや、一年のご褒美として贈る人もいます。それというのも、インターネットの普及で、ご当地の特産品や人気スイーツを家に居ながらにして、手軽に頼める事ができるからでしょうね。



院長の

今回は、むし歯を取り除き合成樹脂を用いた審美修復治療の実際について掲載しました。これらの症例は局所麻酔は行なっていません。麻酔の不快感だけでなく、むし歯を削りその後詰めするまでに約20分程度で終了することがあります。このような処置を行なうことにより患者様から「治療の恐怖感がなくなった」と最近はお聞きいたします。そのためにもむし歯だけでなく、歯周病でも早期発見、早期治療が必要と聞かれます。

今回は、直接削って樹脂を詰めるという方法についてご紹介しました。次回からは、広い範囲で虫歯になった場合や、大きなむし歯あるいは深いむし歯に対する治療方法、すなわち間接修復法についてご紹介したいと思います。

おわりの今年も、もう12月になりました。来年もスタッフ一同、みなさんご自身の御願を申し上げます。